

受検番号

氏名

※印のところは記入しない

高・国語 1

令和六年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校 国語 解答例

※

切り取らないこと

㊦ 29点

問一	⑤	維持	⑥	浪費	2点×2
問二	オ	3点			
問三	時々刻々				3点
問四	一般的生				(別解)「マジョリティ」3点
問五	生活者が個性適切に使用でき、満足感を得られる				
問六	必要な情報が、				
問七	ウ	3点			
問八	自然循環サ				3点

60 5点

㊦ 12点

1	自己や社会にとっての古典の意義や価値を探究し、古典をPRしよう。
2	グループで協働し、授業で扱う文章のもつ価値について、同じ時代の日本及び外国の他の文章や、同じテーマを持つ異なる時代の他の文章との比較を通して、判断の根拠を明確にしながら評価する活動。
3	古典の新刊書を販売する販売員に見立てた学習者が、古典の意義や価値、日本の言語文化について自らテーマを設定して探究し、得たことをもとに消費者役の級友に対してプレゼンテーションする活動。
4	学習者がプレゼンテーションするためのデジタルワークシートを作成している場面で、学習者一人ひとりの記述の内容や学習の過程を、教師用端末を用いて見取る。

これ以降の解答欄は裏面に続く

三 30点

問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二		問一
その後の訪れがないことに対して、嘆かわしく、さらに恨めしく思う気持ち。	ア	涙を流す	⑤ 天王寺	帝に女のもとを訪ねる御意向があることを、女に伝えるため。	③ 奥ゆかしく	理由 この人物に対して何かを申し上げる際に、「奏す」という絶対敬語が用いられているから。	⑨ 訳 どうして、帝のせいでございますか	② 月を見て物思いにふけり、嵐にむかって恨み嘆いても
	3点	様子	⑥ ある		⑦ 年配の			⑩ かわいそうな
		2点	2点×2					
3点				3点		2点	3点	3点

四 29点

問一	問二	問三	問四		問五	問六	問七
① ごとし	② 舟を操ること学ぶべきかと	津人	1 常に恐れを感ぜない	2 水の道理を体得しよう	⑦ 泳ぎの上手なものが何回か練習して漕げるようになるのは、水を意識しなくなるからだ	⑨ 必ず水の道を心得ることがあったはずである	舟が転覆することと車が坂で後さがりすることを同一視している。
⑤ あえて	③ いまだかつてふねをみずして、すなわちこれをあやつるなりと		3点	35 4点	3点		
2点×2	2点	2点			3点	3点	3点

則雖壯見舟而畏之

3点